

資料2

平成30年度

嘉麻市立図書館事業計画表（案）

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
1	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館施設管理運営事業	施設・資料・図書館システムの適切な管理を行い、利用者が図書館を快適にかつ安心して利用できるようにする。	○移動図書館車の運行について、地域の駐車場の安全性を確認し、適切な運行ができるように調整を行う必要がある。 ○長期的な図書館サービスの指針を定めた図書館計画の策定について検討する必要がある。	4月1日 ～ 3月31日	○施設の維持管理 ○計画的な資料の購入 ○図書館システムの管理運営 ○移動図書館車の運行 ○図書館だよりの発行 ○図書館協議会の開催	○駐車場の安全性について調査を行い、調整を図る。 ○図書システムについては、5年を経過するため、安定した運用を図ることを目的として、更新時期を協議する。 ○市内図書館の読書活動の充実を図る適切な図書館計画の策定について協議する。	○移動図書館車の市内周回(現行48箇所)／2週間～1月に1回 ○図書館だよりの発行／月1回 ○図書館協議会／年5回	図書館施設管理運営事業 総額 85,615千円	—
2	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	① 図書館施設管理運営事業	図書館職員(図書司書)研修	図書司書のスキルアップを行い、図書館利用者へのサービスの向上を目指す。	○他部署との連携強化を図るとともに、内容の充実を図り、更なる参加の呼びかけやPR方法の工夫が必要である。 ○学校行事や市内で開催される各種行事と重複しないように配慮する必要がある。	4月1日 ～ 3月31日	○公共図書館司書と学校図書館司書との合同研修会の開催 ○公共図書館司書と学校図書館の司書との意見交換会の開催 ○公共図書館職員の県立図書館主催研修会への参加要請	○市内研修・公共図書館司書と学校図書館司書の双方がスキルアップできるような内容とする。 ○意見交換会 ・意見交換会を定期的に継続して行い連携を深めることにより、子どもの読書活動の推進を充実させていく。 ○県立図書館等主催研修参加 ・習得した知識や技術を職員全体で共有するように努め、市内全体でサービスの向上を図る。	○市内職員研修／年2回 ○意見交換会／年3回開催 ○県立図書館等主催研修参加／1人年2回程度参加	うち報償費 29千円 うち旅費 40千円	学校図書館 学校教育課

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
3	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	おはなし会	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書習慣の涵養を図り、図書館の利用を促進する。	○他部署との連携強化を図るとともに、内容の充実を図り、更なる参加の呼びかけやPR方法の工夫が必要である。 ○学校行事や市内で開催される各種行事と重複しないように配慮する必要がある。	4月1日 ～ 3月31日	○乳幼児向けおはなし会の開催 ○児童向けおはなし会・工作会の開催 ○映画会の開催	○乳幼児期からの継続的な読書活動を促進するため、図書館に来館しやすいような雰囲気づくりや声かけを積極的に行う。 ○各機関との情報交換を行うことや、連携事業を実施することで効果的に事業を進める。 ○学童保育所等関係機関に呼びかけを行い、より多くの子ども達が参加できるようPRを図る。 ○魅力ある配付物を作成し、興味を喚起する工夫を行う。 ○早めに周知することに努め、図書館内での掲示やホームページ・フェイスブック等のSNSを活用した積極的な周知を行い、PR方法の工夫、徹底を行う。	○乳幼児向けおはなし会／各館で月1～2回開催 ○児童向けおはなし会／各館で月1回程度開催 ○映画会／各館で年1回～4回程度開催	読書活動推進事業 総額 2,980千円	子育て支援センター 読書ボランティア 生涯学習課社会教育係
4	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	赤ちゃんタイム	乳幼児の読書推進活動をより活発に進めるため、市内各図書館で定期的に時間を設定し、図書館の利用促進を図る。	○他部署との連携強化を図るとともに、内容の充実を図り、更なる参加の呼びかけやPR方法の工夫が必要である。	4月～3月	乳幼児向けおはなし会と併せて、親子で布絵本等で遊んだり、図書館職員や子育て支援センター職員が絵本や子育ての相談業務等を行う	○他部署との連絡を密にし、事業の定着化と参加者の増加を促す。	各館で毎月1回、午前10時～12時	—	・こども育成課 ・市内子育て支援センター

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
5	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	出張おはなし会(朝の読書活動含む)	子どもたちに本に親しむ機会を提供することにより、子どもたちの読書の習慣づくりを図り、図書館の利用を促進する。	○学校での自主的な読書活動に繋がるような具体的な取組を行うため、公共図書館司書と学校図書館司書との連携強化を図ることが必要である。	4月1日 ～ 3月31日	地域の保育所・小学校・中学校等における、絵本の読み聞かせやブックトークの実施	○公共図書館司書と学校図書館司書との意見交換会の場において、密接な関係性を築き、子どもの読書環境の充実を図るために関係機関との協議を行い、双方の協力体制について検討を行う。また、読書ボランティアの協力についても、必要に応じて調整を図ることとする。 ○児童向けの読書活動の充実を図るため、未来塾や学童保育所等を所管する関係課と意見交換を行い、土曜日の出張おはなし会やブックトークの実施に向けて調整及び協議を行う。	○朝の読書活動支援 嘉穂・山田 ／月1回 稲築・碓井 ／月3回 ○ブックトーク 市内小中学校からの要望に応じ開催	—	保育園 学童保育所 小学校 中学校 学校教育課等

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
6	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタート事業	絵本を通して親子の心の触れ合う時間を提供し、住民の子育て支援と乳幼児期からの読書習慣を涵養することで図書館利用を促進する。	○ブックスタートパック配布の徹底や子育て支援事業への橋渡しをスムーズに行えるように、各部署との更なる連携・協力を図ることが必要である。 ○配付後に図書館利用に繋がるような働きかけを積極的に行う必要がある。 ○現在の体制を継続できる抱っこボランティアの人員確保のため、引き続き新規ボランティアを育成する必要がある。	4月1日 ～ 3月31日	○健康課が実施する4ヶ月健診に併せて、ブックスタート事業の意義の説明 ○絵本2冊を含むブックスタートパックの配布 ○健診会場において、赤ちゃんと保護者に対する絵本の読み聞かせの実施	○配布率100%達成を目指すとともに、おはなし会等の読書活動を推進し、乳幼児期からの読書習慣の定着に向けた取組を進めるため、関係部署の協力を得ながら、全ての子どもに配布できる体制を整えることとする。 ○ブックスタート事業実施時に図書館で開催するおはなし会等の案内をすることで、図書館事業及び図書館利用を促すこととする。 ○抱っこボランティアの参加者募集のPRを行い、見学及び研修を実施し、安全にかつ円滑にボランティアに参加できるように体制の整備を行う。	月1回開催	うち需用費 454千円	健康課母子保健係 生涯学習課社会教育係 こども育成課 保育総務係
7	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	ブックスタートフォローアップ事業	ブックスタート事業のフォローアップ事業として、親子で触れ合いを持つ機会を提供すると共に、保護者に乳幼児期における読書活動(読み聞かせ)の大切さを理解してもらい、子ども達の読書習慣の涵養を図る。	○子育ての時期に読書活動の啓発を図りながら受講者のニーズに合うものを組み合わせる等の工夫を行うことで、新規参加者増を図る必要がある。 ○日常的な図書館利用に繋がる事業となるような働きかけを行い、PR方法についても更なる検討が必要である。	4月～3月	親子で楽しめる講座や保護者に子育てのヒントを伝える講座など、様々なアプローチから、子育てを応援し、併せて本に親しんでいただくことに繋がるような講座を行う。	○様々なアプローチから乳幼児期からの読書活動に繋がるようなテーマを設定した企画に取り組む。また、保護者対象の講座については、託児を行うことで参加がしやすい環境づくりに配慮する。 ○PRについては、ブックスタートでの説明やカウンターでの声かけ等により、多くの方に関心をもっていただけるように働きかける。	・絵本ですくすく／各館で年1回開催	うち報償費 59千円	生涯学習課社会教育係

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
8	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	子ども読書の日事業	4月23日の子ども読書の日を契機として、子どもたちが積極的に読書に親しむ環境を整え、子ども達の読書意欲を喚起できるような取組みを実施し、住民全般に理解と関心を深める。	○学校との連携を深め、図書館事業のPRについて協力を促し、子ども達の来館が増えるような取組を実施する必要がある。 ○図書館ビンゴについては、カウンターでの声かけを含め周知徹底が不足していたため、PR方法を工夫する必要がある。	4月1日 ～ 5月31日	○絵本展 ○図書館ビンゴ ○おはなし会スペシャル ○司書おすすめの本のリスト配布	○館内に子ども達が興味を感じる掲示物やディスプレイを設置する。また、窓口での積極的な声かけを行うなどきめ細やかなPRに努める。 ○学校図書館に図書館事業の案内を掲示し、図書館への来館を促進する。 ○学校司書との意見交換会をとおして、公共図書館と学校図書館で連携を図りながら、読書習慣の定着に繋がるような取について協議する。 ○地域ボランティアとの連絡調整や事前協議を綿密した事業とするための協議を行う。	・おはなし会スペシャル／各館で年1回	—	—

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
9	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	夏休み等子ども向けイベント	夏休み期間等に図書資料に関連した事業を開催することで、今までと違った側面からの本の楽しさに触れてもらうことで、図書館利用を促進する。	○一日図書館員については、申込者が減少したため、対象年齢の拡大や他の内容に変更する等工夫が必要である。 ○概ね多くの申込み数があったが、一部内容によって、申込みが少なく中止とする事業があった。今後は、体験と同時にものづくりを含め、子どものニーズに合わせた内容を検討する必要がある。	7月20日～8月31日	○工作会等の開催 ○1日図書館員の実施	○一日図書館員については、子どもが参加しやすい内容を検討するとともに、対象年齢や日程について館内で協議を行う。一日図書館員については対象年齢や回数、内容を検討する。 ○夏休み等行事については外部講師の検討を含め、他部署との連携を図りながら、子ども達の興味関心を促すような内容を検へ繋がるような働きかけを行う。子ども達のニーズに対応できる内容を検討する。	○夏休み子ども向け講座／各館で年1回 ○1日図書館員／各館で年1回(予定)	—	—
10	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	うちどく事業	福岡県子どもの読書活動充実事業の一環として実施するもので、家庭内で読書の楽しさを共有することや、本を通じて、人と人が繋がっていくことで読書活動の推進を図る。	○例年のPTA研修会よりも参加者数が少なく、読書に対する興味関心が市内の保護者に浸透していないという残念な結果となった。今後は学校やPTAと連携できる事業があれば積極的に参加できるようにしていきたい。 ○次年度以降も、継続してうちどく事業を実施し、実際に家庭での読書に繋がるような取組を検討する必要がある。	4月～5月	うちどく関連事業の実施／1館で1回	○うちどくの本来の趣旨である、家庭で読書を促すような内容の事業を検討する。 ○公共図書館と学校図書館との連携を深め、両方で協力しながら取組める内容を検討する。	年1回開催	—	—

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
11	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	秋の読書まつり	本と雑誌のリサイクル市などを行い、市民が図書館に親しむ機会を提供し、もって図書館の利用を促進する。	○イベントの開催を知らない方も居られたため、今後はさらにカウンターでの声かけを中心に、PR方法を改善する必要がある。 ○中高生向きの展示を発展させ、もっと多くの中高生に参加していただけのようなイベントについて検討する必要がある。	10月～11月	○図書館スタンプラリー ○雑誌リサイクル市 ○おはなし会スペシャル ○移動図書館車特別運行 ○付録抽選会 ○中・高校生向けイベント	○カウンターでの声かけを含め積極的にPRを行う。 ○中高生に関わってもらうイベント内容を検討する。	○雑誌リサイクル市／各館で年1回 ○おはなし会スペシャル／各館で年1回 ○付録抽選会／山田・碓井図書館で年1回 ○中・高校生向けイベント／1館で1回	—	—
12	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	読書講演会	年度ごとにテーマを定め講演会を年1回行い、市民の読書活動と図書館利用の推進を図る。	○開催当日、天候不良ではあったが、参加者数49人と定員90人よりも大幅に下回った。今後、PR方法について改善する必要がある。	10月～11月	テーマを定め嘉穂図書館で講演会を開催する。	○関連図書の展示を含め、なるべく早めにPRを行い多くの方に参加していただけるように取組する。	嘉穂図書館で1回開催	うち報償費 100千円	—
13	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人向け教養講座	読書に親しむ機会を設け、図書館利用を促進する。	○参加者数24人と定員30人を少し下回る参加者数となったため、今後PR方法等を工夫する必要がある。	6月～12月	ラクラク読書会 短編小説等を音読をするとともに、参加者同士で意見交換を行い、読書が苦手な方でも楽しみながら本に触れることができるような取組とする。	○気軽に読書に親しむような題材について講師とともに内容を検討し、より参加者同士のコミュニケーションが活性化されるような働きかけを行い、新たな視点による読書の楽しみ方を提供する。	大人向け教養講座／1館で年6回連続開催	うち報償費 48千円	—

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
14	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人のためのおはなし会	大人を対象にしたおはなし会を開催し、癒しの時間や今までと違った本との出会を提供することで、図書館利用を促進する。	○開催時間については参加者の事情により様々な意見があったが、相対的に高齢の参加者も多く、夜の時間帯は参加しづらいという意見があった。来年度は開催時間の検討が必要である。 ○開催には読書ボランティアの協力が必須であり、継続的な協力体制の確保が必要である。	未定	特定のテーマを設定することにより、市民の興味・関心を促しながら、大人向けの絵本の読み聞かせや朗読等を行う。	○より多くの方が、無理なく参加できる時間帯を検討する。 ○ボランティア関係の会議等で、協力体制の確保について早め提案し、協議することとする。	年1回開催	—	—
15	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	大人向け工作会	図書館の資料に関連した事業を開催することで、今までと違った側面からの本の楽しさに触れてもらい、新たな利用者の開拓を図り、図書館利用を促進する。	○託児の準備をしていたが、申込みが無かった。今後も子育て支援の観点から託児を実施する必要がある。 ○設定した時間が超過したため、今後は適切な時間設定をする必要がある。	未定	図書館や読書に関するテーマで工作会を開催する。	○引き続き、子育て支援の観点から託児を設定することとする。 ○市民のニーズを踏まえた内容を検討した上で、適切な時間帯を設定することとする。	年1回開催	うち報消費 10千円	—
16	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	② 読書活動推進事業	図書館資料の特集展示	時事や地域文化に関するテーマ設定を行い、図書館資料を定期的に展示することにより、図書館利用を促進する。	社会情勢や利用者のニーズに合わせ、魅力あるテーマ設定を行う必要がある。	4月～3月	○一般図書・児童図書の特集展示(毎月) ○新春！初読み	図書司書が時事問題等への関心を持ちながら、カウンター業務等の中で、利用者のニーズ汲み取り、テーマ内容を設定する。	・一般図書・児童図書の特集展示／月1回 ・新春！初読み／年1回開催	—	—

平成30年度嘉麻市立図書館事業計画表

【図書館係】

番号	アクションプラン主要施策	アクションプラン施策内容	アクションプラン事業名	個別事業名	平成 30 年 度 事 業 計 画							
					Plan ・ Check		Do ・ Action					
					実施目標	前年度の課題	実施時期	具体的な事業内容	課題解決に向けての対策	回数等	予算・経費・補助金等	関連事業(関連機関)連携
17	4 生涯学習の実現を目指す社会教育の推進	(3)図書館の利用促進	③ 図書館ボランティア養成事業	読書ボランティア研修・講座	より充実した読書活動推進のための事業展開を図るため、読書ボランティアの養成及び支援を行う。	○読書ボランティアスキルアップ研修 ・開催日時や学習内容を検討し、ボランティアが参加しやすい体制とニーズを考慮し、より多くの方々に受講していただけるような工夫が必要である。 ○新規ボランティア養成講座 ・ボランティア活動への移行がスムーズに運んでいない面があるため、今後も継続的に働きかけをすることが必要である。 ・現在活動中のボランティアが、様々な理由により減少傾向にあるため、新たなボランティア獲得が必要であり、今後若い世代へのアプローチが必要である。 ・一定期間、絵本の読み聞かせ等の講座内容を継続して行ってきたため、内容を検討する必要がある。	未定	○読書ボランティアスキルアップ研修 朝読書やおはなし会等で行うストーリーテリングの研修 ○新規ボランティア養成講座 図書館内における資料の整理や修理等に関する講座	○読書ボランティアスキルアップ研修 ・既存ボランティアの意見を尊重しながら、ニーズに合った内容を検討する。 ○新規ボランティア養成講座 ・ボランティア活動の受入できる事業について、積極的に案内する。 ・気軽にボランティアができるようなプログラムを設定し、PRを積極的に行う。	○読書ボランティアスキルアップ研修／年4回 ○ボランティア養成講座／年3回開催	図書館ボランティア養成事業 総額 54千円 うち報償費 10千円	—